

# 2016活動概況と 2017方向性

2016年度は公益財団法人2年目として、2015年度の実績をベースに、さらに活動のフィールドを広げることができました。

各テーマで、先進的な取り組みのある団体や大学等との連携による新たな取り組みもスタートしました。  
[子どもの安心・安全を守る活動]における京都府警察

本部とのスマホ・ネット活用に関する新規プログラム開発や、日本財団パラリンピックサポートセンターとの教材の共同開発などについては、特筆すべき点です。

2017年度も引き続き、各テーマの中長期的な核となるような取り組みを進めます。

## 活動全体像とテーマ

下記の活動テーマで、「自主事業」と「助成事業」を組み合わせながら、子どもの学びの機会支援とそのため環境づくりに取り組んでいます。

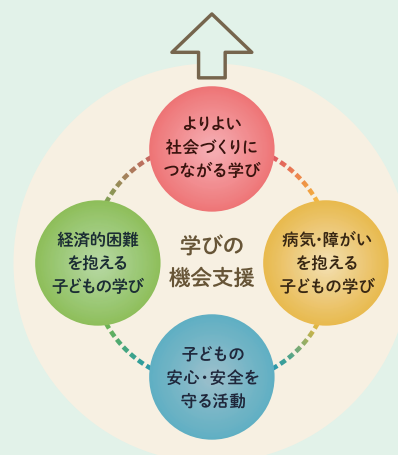
### 自主事業

ベネッセ子ども基金自らが、事業を企画・実施し子どもたちを支援

### 助成事業

地域で、テーマに沿った子ども支援に取り組む団体への助成を通じて、子どもたちを支援

子どもが自らの可能性を  
広げられる社会



活動テーマ	自主事業	助成事業
<u>子どもの安心・安全を守る活動</u>	○	
<u>経済的困難を抱える子どもの学び支援</u>	○	○
<u>重い病気や障がいを抱える子どもの学び支援</u>	○	○
<u>よりよい社会づくりにつながる学び支援</u>	○	
<u>(災害支援) 被災地の子どもたちの学びや育ちの支援</u> ※災害発生時の緊急支援及び復興支援		○

## 子どもの安心・安全を守る活動

子どもの安心・安全な環境づくりのためには、「子どもが自分自身を守る力を高めること」と「地域の見守り力を高めること」の両輪が必要です。専門家とも連携し、「防犯」「防災」テーマでの教育プログラム開発や地域で活動する方々のサポートに取り組んでいます。

### 子どもが自らを守る力を伸ばす 安全・防災教育プログラムの開発・普及



防災教育紙芝居「じしんのときのおやくそく」全国6,000以上の保育園・幼稚園で活用



小学生と保護者のための「子どもの安全・安心ハンドブック」全国の学校や地域で約6万部活用



小学生と保護者のための「初めてのスマホ安心ガイドブック」新規開発

### 地域の見守り力のサポート



ワークショップの手引き書「子どもの安全・安心ハンドブック講師用プログラム」



情報提供サイト「子どもの安全サポートひろば」  
<http://benesse-kodomokikin.or.jp/activity/anzen/index.html>

### 2017年度は……

2016年度までに開発したプログラムのさらなる普及に注力するとともに、2016年度末に新規開発した「初めてのスマホ安心ガイドブック」の講師用プログラムやワークショップの開発を進めます。

## 経済的困難を抱える 子どもの学び支援

日本において深刻化する社会課題である「子どもの貧困」に対する取り組みです。助成事業を通じて、地域で活動するNPO等の団体を支援するとともに、活動団体のノウハウ共有やネットワークづくり支援にも取り組んでいます。

### 活動団体のノウハウ共有や ネットワークづくり支援

課題共有の様子と  
ディスカッションの  
アウトプット物



### 共通課題の抽出

助成団体交流会や助成団体訪問などを通して、多くの団体が共通に抱える課題を把握し、その課題解決支援のための取り組みを検討

### 2017年度は……

多くの団体が共通に抱える課題（「人材育成」や「組織運営基盤強化」等）に対し、複数団体や地域全体で連携して課題解決する取り組みを支援。そのノウハウの抽出やモデル化を行い、他地域への展開を目指します。

## 重い病気や障がいを抱える 子どもの学び支援

重い病気や障がいによって、学びに対するサポートを必要としている子どもとその保護者に対して、病院・学校・活動団体や専門家等と連携し、有効な学びのモデルづくりや情報提供などを通じた支援を行っています。

### 院内学級での 学び支援 プロジェクト

⇒P11～13掲載



### 発達障がいがある子どもの学び支援

#### 情報提供による支援



発達障がい支援サイト「エール&リンク」  
<http://benesse-kodomokikin.or.jp/activity/yellandlink/>

#### リアルな場での支援



発達障がい支援ワークショップ  
「音と光の動物園」



東京藝術大学、NPO法人ADS、ベネッセこども基金の3者連携によるワークショップ。「音楽・映像」「療育」「教育」の知見を組み合わせ、子どもの五感に働きかけ、保護者のサポートにもつながるプログラム。

### 2017年度は……

発達障がい支援は、引き続き、サイトでの情報提供とリアルな場づくりの2本の柱で活動。東京藝術大学やNPO等と連携し、発達障がい支援ワークショップを自治体と共同開催。並行して、ワークショップを入口に、地域で保護者を継続的に支援するモデルづくりに取り組みます。

## よりよい社会づくりに つながる学び支援

“ソーシャルリーダーシップ”＝「地域やコミュニティに主体的に関わり、社会をよりよくしていく一員としての役割を果たすことができる力」であり、未来を生きる子どもたち全員に必要な能力であると定義し、先進的な取り組みがある団体と連携しながら、多様な学びプログラムの開発・普及に取り組みます。

### “ソーシャルリーダーシップ”につなげる学びプログラム

就学前

親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト  
[NPO 法人グッドネーバース・ジャパン連携]

小学生

中学生

【“I'mPOSSIBLE” 日本版】  
[日本財団パラリンピックサポートセンター、  
日本パラリンピック委員会連携]  
⇒P7～10掲載

高校生

高校生英語ディベート  
チームジャパン派遣プログラム

[一般社団法人全国高校英語ディベート連盟国際委員会連携]



発展途上国の問題について、映像教材を見て感じたことを絵で表現することで、創造性を育みながら、家族で学べる教育プログラム

### 2017年度は……

2016年度までの活動テーマ「グローバル社会を生きる子どもの学び支援」を2017年度から「よりよい社会づくりにつながる学び支援」と再設定。“ソーシャルリーダーシップ”という概念を定義し、これまでの取り組みをさらに発展させるとともに、新たなプログラム開発・普及にも取り組みます。

## 助成事業

毎年、下記3つのテーマで助成を実施しています。

※ 2016年度は、下記3テーマに加えて、4月に発生した熊本地震で被災した子どもの支援活動に対する緊急助成も行いました。

助成による支援に留まらず、助成団体交流会等を通じて、

団体同士のノウハウ共有やネットワークづくり支援などにも取り組んでいます。

### 2017年度スケジュール（予定）

	2016年度助成 重い病気：2017年1月～12月の活動助成 経済・災害地：2017年4月 ～2018年3月の活動助成	2017年度助成 重い病気：2018年1月～12月の活動助成 経済・災害地：2018年4月 ～2019年3月の活動助成
<u>重い病気を抱える 子どもの学び支援</u>	2017年6月…助成団体交流会実施	2017年7～8月…募集 2017年12月…助成団体決定
<u>経済的困難を抱える 子どもの学び支援</u>	2017年10月頃…助成団体交流会実施	2017年11月～2018年1月…募集 2018年3月…助成団体決定
<u>災害地の子ども 学びや育ちの支援</u>	2017年10月頃…助成団体交流会実施	2017年11月～2018年1月…募集 2018年3月…助成団体決定

## CLOSE UP 助成団体交流会

### 2015年度【経済的困難】【災害地】の助成団体の交流会（2テーマ合同）

2017年1月31日（火）～2月1日（水） / 2017年2月17日（金）～2月18日（土）

1日目：各団体からの活動紹介、団体共通のテーマ・課題についてのディスカッション、懇親会

2日目：視察（子どもの貧困支援の施設）

#### 各団体からの活動紹介



団体同士が相互に活動を知り、知見やノウハウを交換。同テーマで活動する団体同士ならではの悩みや課題も共有

#### 共通課題のディスカッション



数グループに分かれて共通のテーマ・課題についてディスカッションを行い、まとめを全体で共有